

● Photo sketch ●



3/19 子育てのことならこの一冊にお任せ

子育てに関する相談窓口や支援制度などが掲載された「ときっこ子育てハンドブック」の改訂版が完成し、作成に携わった母親らが喜びを語りました。

今回の改訂では、写真やイラストを多く用い、子ども連れで行きやすい公園や飲食店の情報を盛り込むなど一新。「土岐くらしのラボ」を通して市職員と掲載内容を検討し、公園に足を運んで調べるなどした母親らは、「ママさんや妊娠中の人に見てほしい」と笑顔を見せました。現在、市役所などで配布しています。



3/19 勇気ある行動に感謝

駄知町の酒井静男さんが、2月に発生した隣家火災の初期消火活動に貢献したとして消防長から感謝状を授与されました。

酒井さんは出火する隣家へ自宅から消火器を持ち出し、火元を目掛けて消火器を放射。消防隊員が到着したときには鎮圧状態で、煙を吸い込んだ火元の住人も命に別状はなかったとのこと。

酒井さんは「延焼してはいけないと思い無我夢中だった。消火や人命救助に貢献できてうれしい」とほほ笑みながら話してくれました。



絵画 左から「鱧」「朝顔」

3/25 日本画に興味をもって見てほしい

下石町出身で日展会友の日本画家、林真さんから3作品の絵画を寄贈していただきました。新庁舎に「朝顔」(40号)や東海日展出品作品の「鱧」(130号)の2点、西部こども園には縦180cm、横450cmの大作「スワン」1点。

林さんは、1996年に日展初入選、2013年には日展の特選に輝く経歴の持ち主。「生まれ育ったまちに寄贈できて幸せに思う。子どもたちが作品を見て感性を養ってくれたらうれしい」と話してくれました。



3/28 加藤孝造さんが初寄贈

国指定重要無形文化財「瀬戸黒」保持者(人間国宝)の陶芸家加藤孝造さんから「瀬戸黒茶盃」と「志野茶盃」の2点を寄贈いただきました。

加藤さんは、県陶磁器試験場に勤めていた間に市内の窯元を巡回指導。昨年10月に市長が加藤さんの陶房を訪れたことをきっかけに「これまでに寄贈をしたことがなかった土岐市にも貢献したいと思い制作しました」と今回の寄贈に至りました。今後、美濃磁歴史館などで公開・展示する予定です。

3/24 パスタのお味は、「ポーノ!」

肥田公民館で多文化交流会が開かれ、イタリア・フィリピン・ベトナムなど6カ国から来日した在住外国人と市民約100人が料理を作り食べるなどして親睦を深めました。

これは、土岐市とイタリアのファエンツァ市が姉妹都市提携40周年を迎えたことを参加者に知ってもらおうと市国際交流協会が開催。岐阜市でイタリア料理店を営む高崎さんとイタリア人妻のフォスキさんが招かれ、本場のミートソースの作り方を教わりました。参加者は、「一緒に作って、食べることで心が通じ合う。いい交流ができた」とお腹も心も満たされた様子でした。



4/20-21 春の陽気に誘われてお気に入りの器を見つけよう

セラトピア土岐周辺で「春の土岐市美濃焼祭り〜水辺の陶器マルシェ」が開催され、市内外から大勢のお客でにぎわいました。

室外会場には、「美濃焼」ののぼりを掲げる店舗やキッチンカーがずらり。食洗機でも洗える機能的な器や和風で落ち着いた着きのあるプレート皿、高級感のあるカップ&ソーサーなどが並び、見る人の目を楽しませました。室内会場では、アクセサリー作りや絵付けコーナーが充実し、家族連れが思い出作りにとこぞって体験していました。

